

1

インターネット上には情報がいっぱいあります。中にはウソやデマなど誤った情報もあります。だまされないように次の問題にチャレンジしてみよう。

① 誰の情報を友達に教えてあげる？  
教えてあげたい情報に○をしよう。

② ①で○をした理由を説明してみよう。

公的な機関(国の機関や地方公共団体)が発表している内容なので。

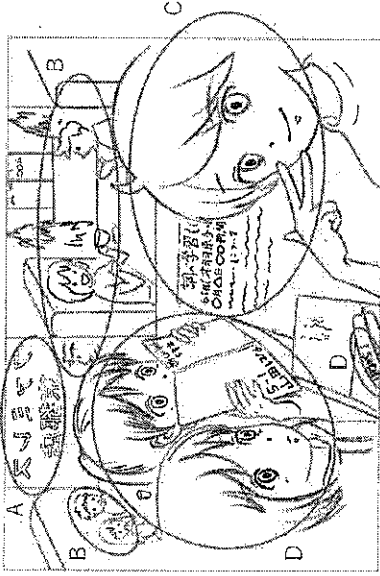
①で○をしなかった理由を説明してみよう。

どこからの情報か書いていない上、言っている人も誰かよく分からない人なので。

2

インターネットは世界中の人に情報を発信できます。情報を発信するとき、どんなところに気をつけるべきか次の問題にチャレンジしてみよう。

① トラブルになるかもしれない部分はどこかな？  
ここだと思うところに○をしてみよう。



いま クラスメイトのハナとサチの3人で調べ学習中!

② ①で○をした理由を説明してみよう。

- A 今居る場所が分かってしまう。  
(「いま」という投稿と、写真に店舗名が写り込んでいる)
- B 他の店舗利用者の顔が写り込んでいる。
- C 自分の学年や名前が分かるものが写り込んでいる。
- D 友達の名前や写真を本人の承諾なく投稿しているかもしれない。

3 保護者の方にチャレンジ結果についてコメントをもらおう。

インターネットをみんなが安全に楽しく使うために、ルールをつくってみよう。



はじめに、インターネットを通じて、みんながどんなトラブルにあうかもしれないが講べてみよう。

ケース1	毎日の生活リズムが乱れてしまった
	「あと少しだけ」と思っていたけれど、ついつい長時間使ってしまう、毎日のように夜遅くまでスマホを使い続けた結果、朝起きるのがつらくなり、眠たくて学校の授業に集中できなくなりました。

ケース2	無料のはずなのに高い料金を払うことになった
	ゲームの始めは無料だったけれど、途中から有料になってしまったため、保護者にだまってゲームを続けた結果、後で保護者のところに高額な請求が来て怒られることになってしまった。

ケース3	自分の投稿で友達を傷つけてしまった
	メッセージを送る前に読み返すことなく送信してしまった結果、言葉の意味が正しく伝わらず、誤解されて相手が傷ついてしまった。

ケース4	犯罪行為になってしまった
	マンガや雑誌、テレビ番組をスマホで撮影して投稿したり、冗談で立入禁止の所へ入った写真を投稿したことが犯罪になることもある。



ヒント  
公益財団法人ベネッセこども基金の「初めてのスマホ安心ガイドブック」や、総務省の「インターネットトラブル事例集」を参考にしてみよう。

トラブルにあわないために、どのようインターネットを使えばよいか、家族と話し合ってルールをつくってみよう。



## わが家のルール

① 利用時間

② 利用場所

③ してはいけないこと

④ かならず守ること